

カワサキ機工株式会社

静岡県掛川市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

「お茶」とともに 100年

そして これからも「お茶」とともに

- 世界的な紅茶生産地であるスリランカの品質管理体制構築に貢献
- 県内の茶業関連機関との連携により地域のリソースを活用しつつ海外でのビジネス展開を目指す
- 製茶の一連の工程をカバーできる様々な製品を開発・製造

企業基本情報

所在地	静岡県掛川市伊達方滑川 810-1
電話/FAX	0537-27-1725/0537-27-1716
URL	http://www.kawasaki-kiko.co.jp/
代表者	代表取締役社長 枝村 康生
設立	1905年
資本金	10,000万円
従業員数	250人



会社概要

日本の茶業発展と共に110余年間、製茶機械開発に取り組んできた業界のトップメーカー。これまで茶生産の効率化、品質向上を目指して開発を続け、現在も次世代のお茶の生産に対応すべく果敢に研究開発を続けている。「お茶」は健康飲料として世界的にも注目されている。世界の人々の口に合った、安全で品質が維持された「お茶」を提供するための機械を今後も開発し続けていくことを使命としている。



新製品展示会

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶ 世界的な紅茶生産地スリランカの品質管理体制構築に貢献

2011年にスリランカ茶業関係者が静岡県を視察したことを契機にスリランカでの調査を開始。その後 JICA 中小企業海外展開支援事業「茶成分分析計による品質管理を通じた紅茶産業競争力向上に関する案件化調査」を受託。スリランカの茶業研究所や紅茶局にて茶成分分析計を活用することで、世界的な紅茶の生産地でありながら品質管理体制が充分でないスリランカの茶葉品質管理体制の構築や、産業競争力の向上を支援する。

スリランカでのビジネス展開の後にはケニアやインド等紅茶生産国でのビジネスも見込んでいる。



スリランカ紅茶局との協議

▶▶▶ 県内茶業関連機関と連携し地域リソースを活用しつつ海外展開を目指す

静岡県は日本有数の茶葉生産地であるが、県内における茶葉の産出額はピークに比べて4割減となっている一方で輸出は伸びている。世界的には、お茶の機能性や効能が着目されつつあるという現状を踏まえ、静岡県農林技術研究所茶業研究センターや静岡県立大学とも連携して海外でのビジネス展開を検討。結果、静岡県内の茶業振興に貢献することを目指している。



静岡茶の新たな可能性を探る

▶▶▶ 製茶の一連の工程をカバーできる様々な製品を開発・製造

1905年の創業以来、一貫して茶生産の効率化や品質向上につながる製品を製造してきた。時代の流れや顧客のニーズに合わせて数多くの製品を開発・製造しており、茶園管理機や製茶プラント、加工用機械等、茶葉加工にかかる一連の工程をカバー可能である。

スリランカでの導入を検討している成分分析計は国内で開発したものをベースに、茶葉の輸出先の嗜好に合わせた成分が分析できるようカスタマイズし、また必要な分析項目に絞りコストダウンを図るなどの工夫をしている。



スリランカに提案している茶成分分析計